

整理番号	44-18	事務事業名	文化賞等表彰事業		作成部署	生涯学習部 社会教育課	電話	内線895
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	山内平一郎	課長職名	可児正樹	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H10	根拠法令等	北広島市文化賞等表彰規則					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	北広島市の文化の向上発展のため、優秀な文化活動を顕彰し、もって北広島市の文化の普及振興を図ることを目的に事業を開始した。ただし、青少年文化奨励賞については平成5年度から実施している。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	豊かな心と個性ある文化をはぐむまち	(第4章)
	節	芸術と文化	(第4節)
	施策	芸術文化活動の振興	(第1施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	市内に居住している小学生以上の市民・市内に主な活動を有している18歳以上の方 市内に居住または通学している方で組織される団体	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	優秀な文化活動を顕彰することで、市民及び団体の芸術文化活動に対する意欲が高まり、心豊かな生活の一助となることを目的とする。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	11月3日文化の日に、文化賞1個人、文化奨励賞1団体、青少年文化奨励賞5個人・2団体を表彰した。
	17年度	広報等で被推薦者を募り、文化賞等選考委員会(社会教育委員で構成)の意見を聴いたうえで教育委員会が受賞者を決定し、表彰式を行う。	

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財	300	329	401	359
	一般財源				
	合計	300	329	401	359
人件費(概算)	人数(年間)	0.10	0.10	0.10	0.10
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	900	900	900	900
総事業費 +		1,200	1,229	1,301	1,259

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	被推薦者数	6個人・3団体	5個人・5団体	5個人・5団体	5個人・5団体
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	受賞者数	6個人・3団体	5個人・5団体	5個人・5団体	5個人・5団体
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	受賞者1件あたりのコスト (総事業費/受賞者数)	133,333円	122,900円	130,100円	125,900円

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	芸術文化活動の意欲の向上は、市民が心豊かな生活を送るうえで重要な役割を担っていると考える。また、芸術文化の振興がまちづくりに果たす役割は年々大きくなりつつある。管内市においては、表彰基準は違うが同様の制度がある。
---------------------------------	--

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	行政が募集しているが、受賞者は文化賞選考委員会、教育委員会を経て決定されており、行政と市民の関わりは妥当である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	今般の社会情勢を考慮すると、心の豊かさ・心のゆとりが生活に果たす役割は大きくなっていくものと考えられる。したがって、市民の芸術文化に対する意欲が高まることは重要である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	文化賞等を受賞することで自らの活動に誇りを持ち、励みになっているものと思われる。	今後は、受賞者の紹介のみならず、受賞作品を広く紹介する手段を考え、一般市民の文化活動に対する意欲の向上を図る。
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	優れた文化活動を表彰することは芸術文化の意欲の向上につながるから、今後も制度の周知と対象者の把握に努めていく。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	文化奨励賞の受賞者の過半が文化振興に貢献した方であり、今後はこの割合は高くなっていくことが予測されるため、文化の振興に貢献した方を表彰するにふさわしい賞を創設する必要がある。	今後の市内における文化活動のあり方を考慮し、本年度より、文化振興に貢献した個人・団体を対象とする文化貢献賞を創設した。

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法等を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	受賞者が地域文化活動に参加する機会を提供するなど、人材活用方法を模索しながら、事業を継続していく。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり